




TOOLS for MOTIF-RACK

インストールガイド

ご注意

- ・ このソフトウェアおよびインストールガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ 巻末にこのソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約が記載されています。ソフトウェアをインストールする前に、必ずこのライセンス契約をお読みください。CD-ROMを開封すると、この契約に同意したことになります。
- ・ このソフトウェアおよびインストールガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ このソフトウェアおよびインストールガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ 市販の音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ OMS™および  は、Opcode Systems, Inc.の商標です。
- ・ Adobe、Adobeのロゴ、AcrobatおよびAcrobatのロゴは、Adobe Systems Incorporatedの商標です。
- ・ その他、このインストールガイドに掲載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- ・ アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。

CD-ROMについて

データの種類

このCD-ROMには、ソフトウェアとオーディオデータが入っています。ソフトウェアのインストールについては3ページ(Windows)、9ページ(Macintosh)を、オーディオデータについては下記をご参照ください。
CD-ROMのソフトウェアを使って、音色データや波形データをエディットしたりコンピューターとやりとりすることができます。

オーディオデータは音楽用のCDプレーヤーまたはコンピューターのCD再生機能を使って再生できます。(オーディオ用のCDプレーヤーでは)ソフトウェアとスタイルデータはトラック1に、オーディオデータはそれ以降のトラックに納められています。
トラック2~12には、Modular Synthesis Plug-in System対応プラグインボードをMOTIF-RACKなどのプラットフォーム機器に装着して作成されたデモソングが入っています。プラグインボードの音を試聴できます。

⊘ ソフトウェアなどが納められているトラック(トラック1)を、オーディオ用のCDプレーヤーで再生しないでください。
大音量により耳に障害を被ったり、CDプレーヤーやスピーカーなどが破損する恐れがあります。

トラック1	ソフトウェア、SMFデータが入っています。このトラックは再生しないでください。
トラック2	PLG150-DRを使って作成されたデモソングが入っています。
トラック3	PLG150-PCを使って作成されたデモソングが入っています。
トラック4、5	PLG150-PFを使って作成されたデモソングが入っています。
トラック6、7	PLG150-VLを使って作成されたデモソングが入っています。
トラック8~10	PLG150-ANを使って作成されたデモソングが入っています。
トラック11	PLG150-DXを使って作成されたデモソングが入っています。
トラック12	PLG100-XGを使って作成されたデモソングが入っています。

データの対応OS (オペレーティングシステム)

このCD-ROMのデータは、WindowsとMacintoshに対応しています。WindowsとMacintoshではデータの内容やインストール方法が異なります。以下、各OSに対応した説明をお読みください。

- Windows →3ページ、13ページをお読みください。
- Macintosh →9ページをお読みください。

CD-ROMの活用手順

CD-ROMを開封する前に、巻末の「ソフトウェアのご使用条件」をお読みください。

- 1 ユーザー登録を行いません。..... 15ページ
- 2 お使いのコンピュータで同梱ソフトウェアが動作することを確認します。..... Windows 4ページ、Macintosh 9ページ
- 3 ドライバーをインストールします。..... Windows 5~7ページ、Macintosh 11ページ
- 4 ソフトウェア(Voice Editorなど)をインストールします。..... Windows 7~8ページ、Macintosh 11ページ
- 5 ソフトウェアを起動します。

これ以降の操作については、各ソフトウェアの取扱説明書(オンラインヘルプ/PDFマニュアル)をご参照ください。

NOTE PDFマニュアルをご覧になるには、コンピューターにAcrobat Readerがインストールされている必要があります(Windows 5ページ、Macintosh 10ページ)。

こんなときは

- ・ USBドライバーの設定を変更したい..... 13ページ
- ・ ドライバーがインストールできない..... 14ページ
- ・ コンピューターからMOTIF-RACKが正常に操作できない..... 14ページ
- ・ ドライバーの削除、再インストールがしたい..... 14ページ

Windowsユーザーの方へ

CD-ROMの内容

Windows用のアプリケーションとコンテンツデータが以下のフォルダーに納められています。

フォルダー名	ソフト名	内容	
Acroread_	Acrobat Reader ^{*1*2}	アプリケーションソフトのPDFマニュアルをコンピューター上で閲覧できるようにします。	
SQ01_	SQ01 ^{*1}	本格的な音楽制作をお楽しみいただけるシーケンスソフトです。プラグインソフトのホストアプリケーションとしても機能します。	
OPTPlug_	VEMRack_	Voice Editor for MOTIF-RACK ^{*1}	Modular Synthesis Plug-in System対応の、各種プラグインボードの音色をエディットするためのソフトウェアです。プラグインボードをお持ちでない場合も、インストールして各エディターのインターフェースやパラメーターを確認できます。
	VLV_	VL Visual Editor ^{*1}	
	ANEX_	AN Expert Editor ^{*1}	
	DXS_	DX Simulator ^{*1}	
	DR_	Plug-in Board Editor for PLG150-DR ^{*1}	
PC_	Plug-in Board Editor for PLG150-PC ^{*1}		
Plug_	XGE_	XG Editor ^{*1}	
USBdrv_	YAMAHA USB MIDI driver (Win98/Me用)	MOTIF-RACKとコンピューターをUSB接続するのに必要なドライバーソフトです。	
USBdrv2K_	YAMAHA USB MIDI driver (Win2000/XP用)		
DemoSong	デモソング	MOTIF-RACKのデモソングデータです。SQ01を使って再生できます。(8ページ参照)	

*1 これらのソフトウェアには電子マニュアルが付いています。

*2 このソフトウェアはヤマハではサポートしません。

「OPTPlug_」フォルダー内のソフトウェアは、単独で起動できます。また、Open Plug-in Technology対応のシーケンスソフトなどのプラグインとしても起動でき、簡単に音色選択ができるようになります。

XG Editorは、SOLやSQ01のプラグインとしてのみ起動できます。

■ Open Plug-in Technologyについて

Voice Editor for MOTIF-RACKやプラグインボード用エディターは単独のアプリケーションソフトウェアですが、WindowsではOpen Plug-in Technology(オープンプラグインテクノロジー)対応のソフトウェアのプラグインソフトとして使うこともできます。

Open Plug-in Technology(以下OPT)は、シーケンサーなどの音楽用ソフトウェアからMIDI機器をコントロールするための新しいソフトウェアプラグインフォーマットです。たとえば、シンセサイザー、プラグインボードの音色エディターや、ミキサーをコントロールするエディターなどを、別々に起動させるのではなく、OPTに対応したアプリケーションの中で動作させることができます。アプリケーションごとにMIDIドライバーの設定などをする必要がなくなり、音楽制作をより快適でシームレスに行なう環境を実現します。

● ホストアプリケーションのOPT対応レベル

OPT対応のホストアプリケーションは、以下の3つのレベルに分けられます。



レベル1(PANELS)のホストアプリケーションでは、プラグインソフトウェアの基本的な機能をサポートしており、代表的な例としては、コンピューター上でプラグインソフト(エディターなど)のパネルを使って音色エディットができます。



レベル2(PROCESSORS)のホストアプリケーションでは、プラグインソフトウェアからMIDIデータを受信するなど、レベル1よりも一歩進んだエディットができます。プラグインソフトウェアの多くの機能をサポートしていますが、一部対応していない機能(イベント挿入など)があります。



レベル3(VIEWS)のホストアプリケーションでは、プラグインソフトウェアが持っているすべての機能が動作します。ヤマハのシーケンスソフトSOLやSQ01はOPTレベル3(VIEWS)に対応しています。

Voice Editor for MOTIF-RACK動作表

Voice Editor for MOTIF-RACKは、以下のように動作します。

ホストアプリケーション対応レベル	Voice Editor for MOTIF-RACKの動作	
	動作可否	機能制限の内容
IEWS(レベル3) 	動作する	なし
PROCESSORS(レベル2) 	動作する	なし
PANELS(レベル1) 	動作する	バルク受信に未対応

Voice Editor for MOTIF-RACKはレベル2(PROCESSORS)、レベル3(VIEWS)のホストアプリケーションではすべての機能が動作します。レベル1(PANELS)のホストアプリケーションではバルク受信ができません。

NOTE ホストアプリケーション側に対応する機能がない場合は、期待どおりに動作しない場合があります。
対応レベルは、OPTのロゴで確認できます(ホストアプリケーションのバージョン情報などに表示されます)。

このほかのOPT対応エディターの動作については、エディターに付属のPDFマニュアルをご参照ください。

ソフトウェアの動作環境

お使いのOSによっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。

□SQ01

OS: Windows 98/Me/2000/XP Home Edition/XP Professional
対応コンピューター: 450MHz以上のIntel PentiumおよびCeleronファミリーのプロセッサを搭載したコンピューター
メモリ: 64MB以上 (128MB以上推奨)
ハードディスク: 300MB以上の空き容量
ディスプレイ: 800×600 High Color (16bit)

□Voice Editor for MOTIF-RACK

OS: Windows 98/Me/2000/XP Home Edition/XP Professional
対応コンピューター: 166MHz以上のIntel PentiumおよびCeleronファミリーのプロセッサを搭載したコンピューター
メモリ: 32MB以上
ハードディスク: 16MB以上の空き容量
ディスプレイ: 800×600 High Color (16bit)

□各種プラグインボード用エディター

OS: Windows 98/Me/2000/XP Home Edition/XP Professional
対応コンピューター: 166MHz以上のIntel PentiumおよびCeleronファミリーのプロセッサを搭載したコンピューター
メモリ: 32MB以上
ハードディスク: 8MB以上の空き容量
ディスプレイ: 800×600 High Color (16bit)
DX Simulatorでは1024×768

□USB MIDI Driver

OS: Windows 98/Me/2000/XP Home Edition/XP Professional
対応コンピューター: USB端子を装備した166MHz以上のIntel Pentium/Celeronファミリーのプロセッサを搭載したコンピューター
メモリ: 32MB以上 (64MB以上推奨)
ハードディスク: 2MB以上の空き容量

ソフトウェアのインストール

アンインストール(アプリケーションの削除)

次の方法でインストールしたソフトウェアを削除することができます。

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]→[インストールと削除]で、削除したい項目を選択し、[追加と削除]をクリックします。

ダイアログが表示されますので、画面の指示に従って削除を実行してください。

NOTE ご使用のOSによりメニュー名やボタン名などが異なる場合があります。

Acrobat Readerのインストール

各アプリケーションに付属のPDFマニュアルをコンピューター上で見るために、あらかじめこのソフトウェアをインストールする必要があります。

NOTE CD-ROMに搭載されているバージョン以前のAcrobat Readerがすでにコンピューターにインストールされている場合は、このバージョンをインストールする前に、前のバージョンのものをアンインストールしてください。

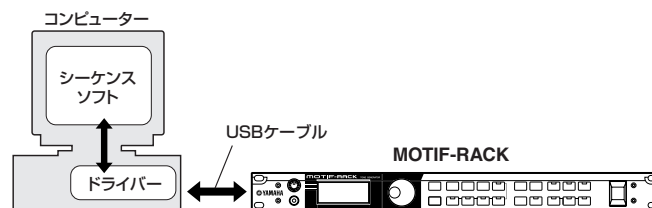
- 1 「Acroread」フォルダーをダブルクリックします。
4種類の言語のフォルダーが表示されます。
- 2 「Japanese」フォルダーをダブルクリックします。
「ar***jpn.exe」(***にはバージョンを示す数字が入ります)という実行ファイルが表示されます。
- 3 「ar***jpn.exe」をダブルクリックします。
Acrobat Readerのセットアップダイアログが表示されます。
- 4 画面の指示に従ってインストールを実行します。

インストール後、コンピューター上(デフォルトではProgram Files)にAcrobatのフォルダーが追加されます。

操作については[ヘルプ]メニューの[Readerのヘルプ]をご参照ください。

USB-MIDIドライバーのインストール

MOTIF-RACKをコンピューターにて実際に使用するためには、コンピューターにドライバーを正しくインストールする必要があります。USB-MIDIドライバーは、シーケンスソフトなどからUSBケーブルを通じて、MOTIF-RACKにMIDI信号を送信したり、逆にMOTIF-RACKからシーケンスソフトなどにMIDI信号を送信したりするためのソフトウェアです。



Windows 98/Meをお使いの場合 →6ページ
Windows 2000をお使いの場合 →6ページ
Windows XPをお使いの場合 →7ページ

お使いのCD-ROMドライブのドライブ名(D:、E:、Q: など)をあらかじめご確認ください。ドライブ名は「マイコンピューター」の中のCD-ROMアイコンの下に表示されています。(CD-ROMドライブのルートディレクトリはそれぞれD:¥、E:¥、Q:¥ などになります。)

Windows 98/Meへのインストール

- 1 コンピューターを起動します。
- 2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
- 3 MOTIF-RACKの電源がオフになっていることを確認した上で、コンピューター（またはUSBハブ）のUSB端子とMOTIF-RACKのUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMOTIF-RACKの電源を入れると、コンピューター画面に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が自動的に表示されます。

NOTE Windows Meをお使いの場合は、「適切なドライバーを自動的に検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて[次へ]をクリックします。ドライバーの検索とインストールが自動的に始まりますので、手順8へお進みください。ドライバーが検出されない場合は、「ドライバーの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、CD-ROMドライブの「USBdrv_」フォルダーを指定してインストールしてください。

- 4 [次へ]をクリックします。
検索方法を選択する画面が表示されます。
- 5 「使用中のデバイスに最適なドライバーを検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。
ドライバーのインストール元を選択する画面が表示されます。
- 6 「CD-ROM ドライブ」にチェックを入れ、それ以外の項目はすべてチェックを外します。[次へ]をクリックします。

NOTE ドライバーの検出中にWindowsのCD-ROMを要求してくる場合がありますが、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBdrv_」ディレクトリー (D:¥USBdrv_¥など)を指定してインストールを続行してください。

NOTE Windows 98の場合、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBdrv_」ディレクトリー (D:¥USBdrv_¥)などを直接指定してください。

- 7 CD-ROMの中のドライバーを検出し、インストールの準備が終わると、ドライバーをインストールする準備ができた旨のメッセージが表示されます。
「YAMAHA USB MIDI Driver」が表示されていることを確認後、[次へ]をクリックします。インストールが始まります。
- 8 インストールが終わると、インストールが終了した旨のメッセージが表示されます。
[完了]をクリックします。

NOTE コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

Windows 2000へのインストール

- 1 コンピューターを起動して、administrator権限のあるアカウントでWindows 2000にログインします。
- 2 [マイコンピューター]→[コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]→[ドライバーの署名]→[ファイルの署名の確認]で「無視 - ファイルの署名に関係なく、すべてのファイルをインストールする」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK]をクリックします。
- 3 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
- 4 MOTIF-RACKの電源がオフになっていることを確認した上で、コンピューター（またはUSBハブ）のUSB端子とMOTIF-RACKのUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMOTIF-RACKの電源を入れると、コンピューター画面に「新しいハードウェアの検索ウィザード」が自動的に表示されます。[次へ]をクリックします。
- 5 「デバイスに最適なドライバーを検索する(推奨)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。
ドライバーのインストール元を選択する画面が表示されます。
- 6 「CD-ROM ドライブ」にチェックを入れ、それ以外の項目はすべてチェックを外します。[次へ]をクリックします。

NOTE ドライバーの検出中にWindowsのCD-ROMを要求してくる場合がありますが、読み込み先としてCD-ROMドライブの「USBdrv2k」ディレクトリー (D:¥USBdrv2k_¥など)を指定してインストールを続行してください。

- 7 インストールが終わると、「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されます。
[完了]をクリックします。

NOTE コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。

- 8 コンピューターを再起動します。
これで、ドライバーのインストールは完了しました。

Windows XPへのインストール

- 1 コンピューターを起動します。
- 2 [スタート]→[コントロールパネル]をクリックします。コントロールパネルが下のような表示のときは、画面左上の「クラシック表示に切り替える」をクリックします。すべてのコントロールパネルとアイコンが表示されます。



- 3 [システム]→[ハードウェア]→[ドライバーの署名]→[ドライバー署名オプション]で「無視—ソフトウェアをインストールし、確認を求めない (I)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[OK]をクリックします。
- 4 [OK]をクリックしてシステムのプロパティを閉じてから、画面右上の「X」をクリックしてコントロールパネルを閉じます。
- 5 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
- 6 MOTIF-RACKの電源がオフになっていることを確認した上で、コンピューター（またはUSBハブ）のUSB端子とMOTIF-RACKのUSB端子を、USBケーブルを使って接続します。続いてMOTIF-RACKの電源を入れると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が自動的に表示されます。
- 7 「ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)(I)」の左側にあるラジオボタンにチェックを入れて、[次へ]をクリックします。インストールが始まります。
- 8 インストールが終わると、「新しいハードウェアの検出ウィザードの完了」と表示されます。[完了]をクリックします。
NOTE コンピューターによっては、インストール終了後この画面が表示されるまでに10秒近くかかる場合があります。
- 9 コンピューターを再起動します。

これで、ドライバーのインストールは完了しました。

SQ01のインストール

シーケンサーとしての機能以外に、Voice Editor for MOTIF-RACK(プラグインソフト)をインストールし、MOTIF-RACKの音色エディターとしての機能を活用することができます。

- 1 「SQ01」フォルダーをダブルクリックします。「Setup.exe」などのファイルが表示されます。
- 2 「Setup.exe」をダブルクリックします。SQ01のセットアップダイアログが表示されます。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。

NOTE シリアル番号は、ユーザー登録カードに記載されておりますので、そちらをご参照ください。

インストールが完了したら、コンピューターの再起動を選択します。再起動後、コンピューター上(デフォルトではProgram Files)にYAMAHAのフォルダーが追加され、その中にSQ01のフォルダーが生成されます。

操作についてはオンラインヘルプをご参照ください。

SQ01 MIDI設定

- 1 [スタート]メニューをクリックして[プログラム]→[YAMAHA SQ01]→[SQ01]を選択すると、SQ01が起動します。
- 2 SQ01の[設定]メニュー(トラックビューウィンドウ)から[MIDI]→[デバイス]を選択すると、MIDIダイアログのデバイス画面が表示されます。
- 3 USB接続したMOTIF-RACKを使うためには「出力」欄で、「YAMAHA USB OUT 0-1」をクリックして選択状態(反転表示)にします(ポート1を使用する場合)。
- 4 同様に、「入力」欄で「YAMAHA USB IN 0-1」を選択して、[OK]をクリックします(ポート1を使用する場合)。

NOTE SQ01の[設定]メニューから[オーディオ]→[デバイス]を選択すると、Audioダイアログのデバイス画面が表示されます。必要に応じて、オーディオドライバーやオーディオ入力/出力デバイスの設定をすることができます。

NOTE MOTIF-RACKとのUSB接続で送受信できるデータはMIDIデータのみです。オーディオデータは送受信しません。

Voice Editor、各種プラグインボード用エディターのインストール

MOTIF-RACKとコンピューターを接続して、MOTIF-RACKやプラグインボードの音色をエディットすることができます。

- 1 「OPTPlug_」または「Plug_」フォルダーをダブルクリックします。ソフトウェアごとのフォルダーが表示されます(3ページ参照)。
- 2 目的のソフトウェアのフォルダーをダブルクリックします。「Setup.exe」などのファイルが表示されます。
- 3 「Setup.exe」をダブルクリックします。セットアップダイアログが表示されます。
- 4 画面の指示に従ってインストールを実行します。SQ01のフォルダーの中に各ソフトが追加されます(SQ01の[プラグイン]/[表示]メニューに各プラグインソフトが追加されます)。

操作についてはオンラインヘルプ/PDFマニュアルをご参照ください。

MIDIポートの設定(単独で起動する場合)

各種エディターでMIDIポートを選択する前にMIDI SetupツールバーでMIDIポートを設定する必要があります。

NOTE 各種エディターを、Open Plug-in Technology(オープンプラグインテクノロジー)対応アプリケーションソフトのプラグインとして使う場合については、それぞれのオンラインマニュアルをご参照ください。

- 1 エディターを起動してください。
- 2 以下のようなMIDI Setupツールバーが表示されますので、MIDI Setupボタンを押してください。



MIDI Setupボタン

- 3 MIDI Setupボタンを押すとMIDI Setupダイアログが表示されますので、MOTIF-RACKが接続されているMIDI In/Out/Thruの各ポートを設定してください。

NOTE 各種エディターにおいてMIDIポートを有効にするには、それぞれのアプリケーションの設定ダイアログでMIDIポートを選択する必要があります(上記のMIDI Setupダイアログで設定されたMIDIポートの中からどれを使用するかを選択になります)。設定方法の詳細はそれぞれのアプリケーションのオンラインヘルプ/PDFマニュアルをご参照ください。

付属シーケンスソフトウェアを使ったデモソングの再生

ファイルの内容

「DemoSong」フォルダー内のファイルは、CD-ROMに収録されているシーケンスソフトウェア用のデモソングデータです。次の手順で、デモソングを聞くことができます。

NOTE 付属のシーケンスソフトウェアについて詳しくはソフトウェアのオンラインヘルプをご参照ください。

NOTE 付属のデモソングには、お使いの製品に内蔵されているデモソングと同一のものが含まれている場合があります(お使いの製品によってはすべて同一の場合があります)。付属のシーケンスソフトウェアから再生することで、シーケンスソフトウェアのさまざまな機能をご確認いただけます。

操作の流れ

- 1 ソフトウェアの動作環境を確認します(4ページ参照)。
- 2 お使いの製品(シンセサイザー/音源など)とコンピューターを接続します(取扱説明書参照)。
- 3 ドライバーをコンピューターにインストールし、必要な設定を行ないます(5ページ参照)。
- 4 シーケンスソフトウェアをインストールします(7ページ参照)。
- 5 シーケンスソフトウェアを起動し、MIDIに関する設定をします(7ページ参照)。
- 6 デモソングファイルをCD-ROMからハードディスクにコピーします。
- 7 シーケンスソフトウェアの[ファイル]メニューから[開く]を選択し、[開く]ダイアログを開きます。ハードディスクにコピーしたデモソングを選択して、[開く]をクリックすると、新しいトラックビューウィンドウ(シーケンスソフトウェアのオンラインヘルプ参照)が開き、選択したデモソングがいくつかのブロックとして表示されます。
- 8 トランスポートバー(シーケンスソフトウェアのオンラインヘルプ参照)のプレイボタンをクリックすると、デモソングの再生が始まります。

これ以降の操作について詳しくは、シーケンスソフトウェアのオンラインヘルプをご参照ください。

Macintoshユーザーの方へ

CD-ROMの内容

CD-ROMには[Japanese]と[International]のフォルダーがあります。

日本語版をインストールしますので、[Japanese]フォルダーをダブルクリックして開きます。このフォルダーには、Macintosh用の日本語版アプリケーションとコンテンツデータが9種類のフォルダーに分けて納められています。

■ [Japanese]フォルダー

フォルダー名	ソフト名	内容
Acroread_	Acrobat Reader ^{*1*2}	アプリケーションソフトのPDFマニュアルをコンピューター上で閲覧できるようにします。
OMS_	Open Music System (OMS) 2.3.3J ^{*1}	Mac OS上で音楽アプリケーション(MIDIデータ)を使用できるようにします。
	OMS Setup for YAMAHA(フォルダー)	ヤマハ製品用のOMSセットアップファイルが入っています。
USBdrv_	YAMAHA USB MIDI Driver	MOTIF-RACKとコンピューターをUSB接続するのに必要なドライバーソフトです。
MRackEditor_	Voice Editor for MOTIF-RACK ^{*1}	MOTIF-RACKの音色をコンピューター上でエディットすることができます。
VLVEditor_	VL Visual Editor ^{*1}	Modular Synthesis Plug-in System対応の各種プラグインボードの音色をエディットするためのソフトウェアです。 プラグインボードをお持ちでない場合も、インストールして各エディターのインターフェースやパラメーターを確認できます。
ANEXEditor_	AN Expert Editor ^{*1}	
DXSim_	DX Simulator ^{*1}	
DREditor_	Plug-in Board Editor for PLG150-DR ^{*1}	
PCEditor_	Plug-in Board Editor for PLG150-PC ^{*1}	

*1 これらのソフトウェアには電子(PDF)マニュアルが付いています。

*2 このソフトウェアはヤマハではサポートしません。

ソフトウェアの動作環境

お使いのOSによっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。

□ Voice Editor for MOTIF-RACK

OS: Mac OS 8.6以上Mac OS 9.22以下(Mac OS X およびClassic環境は未対応)
対応コンピューター: PowerPC以上を搭載したMacintoshコンピューター
メモリ: 16MB以上
ハードディスク: 32MB以上の空き容量(OMSを除く)
ディスプレイ: 800×600以上 32000色以上

□ 各種プラグインボード用エディター

OS: Mac OS 8.0以上Mac OS 9.22以下(Mac OS X およびClassic環境は未対応)
Plug-in Board Editor for PLG150-DR/PLG150-PCではMac OS 8.6以上Mac OS 9.22以下(Mac OS X およびClassic環境は未対応)
対応コンピューター: PowerPC以上を搭載したMacintoshコンピューター
メモリ: 下記以上
・ DX Simulator/AN Expert Editor: 13MB
・ VL Visual Editor: 5MB
・ Plug-in Board Editor for PLG150-DR/PLG150-PC: 12MB
ハードディスク: 下記以上の空き容量
・ DX Simulator: 5.5MB
・ AN Expert Editor: 7.5MB
・ VL Visual Editor: 5MB
・ Plug-in Board Editor for PLG150-DR/PLG150-PC: 16MB
ディスプレイ: 800×600以上
VL Visual Editorでは640×480以上

□ USB MIDI Driver

OS: Mac OS 8.5以上Mac OS 9.22以下(Mac OS X およびClassic環境は未対応)
対応コンピューター: USB端子を装備し、PowerPC以上を搭載したMacintoshコンピューター
メモリ: 64MB以上(128MB以上推奨)

NOTE ただし、仮想メモリは「切」にしてください。

ハードディスク: 2MB以上の空き容量
その他: OMS 2.3.3以上(同梱CD-ROMに付属)

ソフトウェアのインストール

Acrobat Reader のインストール

各アプリケーションに付属のPDFマニュアルをコンピューター上で見るために、あらかじめこのソフトウェアをインストールする必要があります。コンピューターにすでにAcrobatがインストールされている場合は再インストールする必要はありません。

- 1 「Acroread」フォルダーをダブルクリックします。
「Japanese Reader Installer」(インストーラー)が表示されます。
- 2 「Japanese Reader Installer」をダブルクリックします。
Acrobat Readerのセットアップダイアログが表示されます。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。
インストールが完了したら、コンピューター上(デフォルトではハードディスク上)に「Adobe Acrobat」フォルダーが追加されます。

操作については[ヘルプ]メニューの[Readerのヘルプ]をご参照ください。

Open Music System (OMS) 2.3.3Jのインストール

Mac OS上で複数の音楽アプリケーション(MIDIデータ)を使用できるようにします。コンピューターにすでにOMSがインストールされている場合は再インストールする必要はありません。

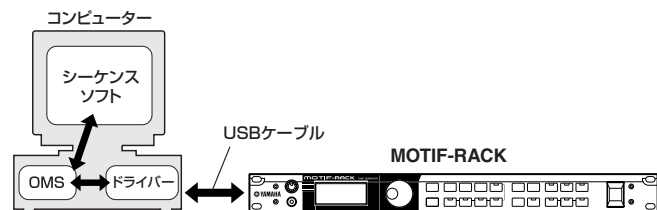
- 1 「OMS」フォルダーをダブルクリックします。
「Install OMS2.3.3J」(インストーラー)が表示されます。
- 2 「Install OMS2.3.3J」をダブルクリックします。
OMSのセットアップダイアログが表示されます。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。
インストールが完了したら、コンピューターの再起動を選択します。
NOTE インストール終了時に、以下の内容のメッセージが表示されることがあります。
「アプリケーションを終了することができませんでした。」
このようなメッセージが表示された場合は、ファイルメニューから[終了]を選択してインストーラーを終了し、コンピューターを再起動してください。
再起動後、コンピューター上(デフォルトではハードディスク上)に「Opcode」/「OMS アプリケーション」フォルダーが追加されます。
- 4 CD-ROM内の「OMS2.3J_Manual.pdf」をドラッグ&ドロップで、「OMSアプリケーション」フォルダーにコピーします。

操作についてはこの「OMS2.3J_Manual.pdf」をご参照ください。

- 5 CD-ROMの「OMS Setup for YAMAHA」フォルダーを「OMSアプリケーション」フォルダーにドラッグ&ドロップでコピーします。
この「OMS Setup for YAMAHA」フォルダーには、MOTIF-RACK用のOMSセットアップファイルが入っています。お持ちの音源のセットアップファイルをテンプレートとしてご使用ください。

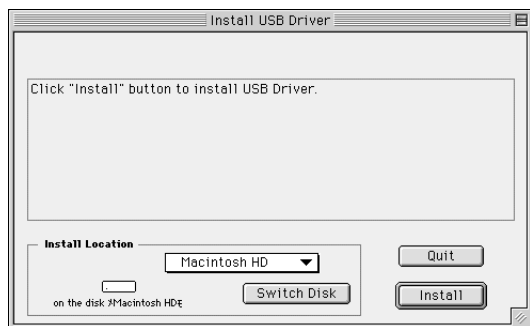
USB-MIDIドライバーのインストール

MOTIF-RACKをコンピューターにて実際に使用するためには、コンピューターにドライバーを正しくインストールする必要があります。USB-MIDIドライバーは、シーケンスソフトなどからUSBケーブルを通じて、MOTIF-RACKにMIDI信号を送信したり、逆にMOTIF-RACKからシーケンスソフトなどにMIDI信号を送信したりするためのソフトウェアです。



USB-MIDIドライバーをインストールする前に、OMSがインストールされている必要があります(10ページ)。また、ドライバーインストール後に、OMSのセットアップ(12ページ)が必要になります。

- 1 コンピューターを起動します。
- 2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。
- 3 CD-ROMのアイコンをダブルクリックして開き、「Japanese」フォルダー→「USBdrv」フォルダーの「Install USB Driver」のアイコンをダブルクリックします。インストール画面が起動します。



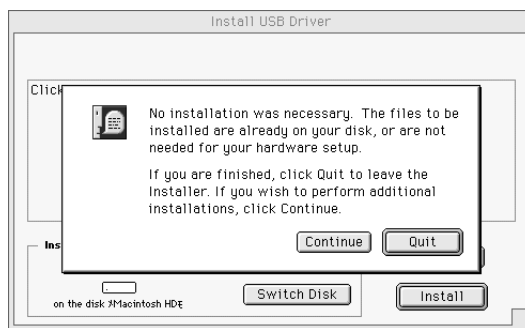
- 4 「Install Location」(インストール場所)というボックスに、インストール先が表示されます。インストールするディスクやフォルダーを変えたい場合は、[Switch Disk](ディスク切り替え)やプルダウンメニューを使い、インストール先を選択してください。

NOTE 通常は起動ディスクが自動的に表示されるので、インストール先を変更する必要はありません。

- 5 [Install](インストール)をクリックすると、「ソフトウェアインストール後、コンピューターを再起動する必要があります。[Continue]をクリックすると、すべてのアプリケーションが自動的に終了します。」という英語のメッセージが表示されます。[Continue]をクリックしてください。

NOTE インストールを中止したい場合は、[Cancel]をクリックしてください。

- 6 インストールが開始されます。ドライバーがすでにインストールされている場合、以下のようなメッセージが表示されます。手順3にもどる場合は[Continue]を、インストールを終了する場合は[Quit](終了)をクリックします。



- 7 インストールが終わると、「インストールは完了しました。コンピューターを再起動する必要があります。」という英語のメッセージが表示されますので、[Restart](再起動)をクリックしてください。自動的にコンピューターが再起動します。また、以下の場所にそれぞれのファイルがインストールされているのを確認することができます。

- 「システムフォルダー」：「コントロールパネル」：「YAMAHA USB MIDI Patch」
- 「システムフォルダー」：「機能拡張」：「USB YAMAHA MIDI Driver」
- 「システムフォルダー」：「OMS Folder」：「YAMAHA USB MIDI OMS Driver」

Voice Editor、各種プラグインボード用エディターのインストール

Voice Editorを使ってMOTIF-RACKの音色をエディットしたり、音色データをコンピューターに保存したりすることができます。

- 1 インストールしたいソフトウェアのフォルダー(9ページ参照)をダブルクリックします。「***のインストール」(インストーラー)が表示されます。
- 2 「***のインストール」をダブルクリックします。インストールのセットアップダイアログが表示されます。
- 3 画面の指示に従ってインストールを実行します。インストール後、コンピューター上(デフォルトではハードディスク上)に「YAMAHA Tools」のフォルダーが追加されます。操作についてはそれぞれのエディターのPDFマニュアルをご参照ください。

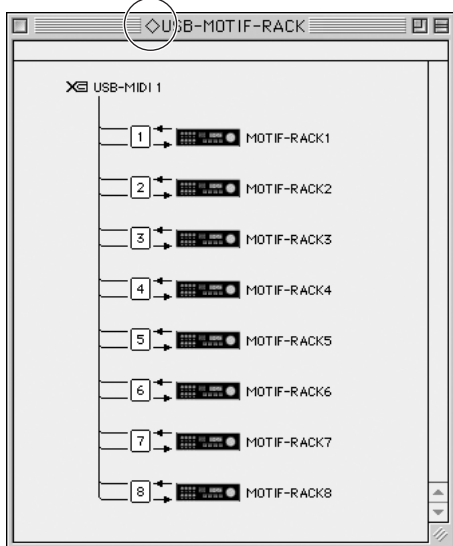
OMSのセットアップについて

CD-ROMの中には、MOTIF-RACK専用のOMSスタジオセットアップファイルが同梱されています。OMSのセットアップにはこのスタジオセットアップファイルを使用します。

NOTE 事前にOMSとUSB-MIDIドライバーをインストールしている必要があります(11ページ)。

- 1 USBケーブルを使用して、コンピューター(またはUSBハブ)のUSB端子と、MOTIF-RACKのUSB端子を接続します。MOTIF-RACKの電源を入れます。
 - 2 コンピューターを起動します。
 - 3 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。デスクトップにCD-ROMのアイコンが表示されます。
 - 4 CD-ROMのアイコンをダブルクリックして開き、「Japanese」フォルダー→「OMS」フォルダー→「OMS Setup for YAMAHA」フォルダーの中にある、「USB-MOTIF-RACK」スタジオセットアップファイルをハードディスクにコピーします。
 - 5 「USB-MOTIF-RACK」スタジオセットアップファイルをダブルクリックして、OMS Setupを起動します。
- NOTE** MOTIF-RACKを複数台使用するためには、USBハブなどUSB端子を拡張する機器が必要です。
- 6 OMS Setupが起動すると、先ほど立ち上げたスタジオセットアップファイルが開きます。タイトルバーに表示されたファイル名の先頭に「◇」が表示されていることを確認してください。

ファイル名の先頭に「◇」が表示されます。



NOTE 「◇」が表示されない場合には、「ファイル」メニュー→「セットアップを有効にする」を選択します。「◇」の表示を確認後、保存します。

これで、OMSのセットアップは完了です。

NOTE 左記のスタジオセットアップを行なった場合、MOTIF-RACKのみが認識されます。MOTIF-RACK以外の楽器をUSB接続する場合や、すでにOMSを使用していて新たにMOTIF-RACKをシステムに加える場合などは、独自のスタジオセットアップを作成する必要があります。詳しくは、付属の「OMS2.3J_Manual.pdf」をご参照ください。

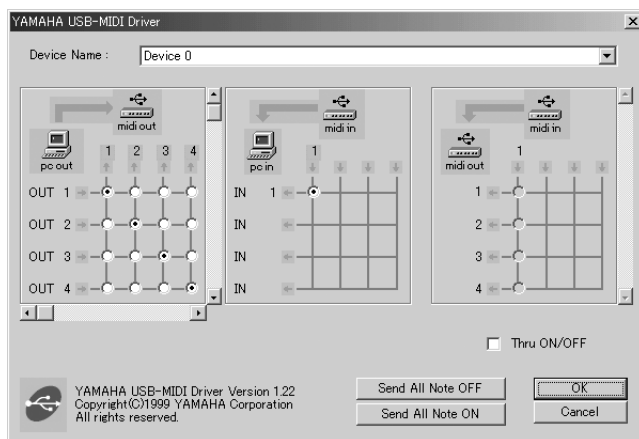
NOTE お使いのMacintoshやOSのバージョンによっては、左記の手順で操作しても同梱のMOTIF-RACK用スタジオセットアップファイルが動作しない場合があります。(セットアップが有効になっても、MIDIの送受信はできません。)この場合、MOTIF-RACKとMacintoshを接続した後、以下の手順でセットアップファイルを作りなおしてください。

- 1 OMS Setupを起動し、「ファイル」メニューより「新規セットアップ」を選びます。
- 2 OMSドライバー検索ダイアログが表示されますので、[Modem]および[Printer]のチェックを必ずはずして、[検索]ボタンをクリックし、デバイスの検索を行ないます。デバイスの検索に成功すると、OMSドライバー設定ダイアログでUSB-MIDIというデバイスが表示されます。
- 3 [OK]ボタンをクリックして、さらにポートを検索します。MOTIF-RACKの場合、Port1、Port2...などという名称になります。各ポートのチェックボックスをチェックしたのち、[OK]ボタンをクリックし、保存します。

USBドライバー設定画面について (Windows/Macintosh共通)

ここでは、コンピューター側のシーケンサーなどで選択されたポート番号と、MOTIF-RACKに実際に送られるポート番号などの関係を変更することができます(MOTIF-RACKの場合は初期状態から特に設定を変更する必要はありません)。

Windowsでは[スタート]メニュー(→[設定])→[コントロールパネル]→[MIDI-USB Driver]、
Macintoshでは[アップル]メニュー→[コントロールパネル]→[YAMAHA USB MIDI Patch]を選択して、設定画面を開きます。



ポート番号とMOTIF-RACKのMIDI入出力端子の関係は、以下のようになっています。また、初期設定では、コンピューター側と実際に入出力されるポート番号が一致しています。

NOTE もし、設定を変更してMIDI情報を送受信できなくなった時は、以下の初期状態に戻してください。

ポート番号	MIDI出力端子 (Thruポート番号*)	MIDI入力端子 (トラックポート番号)
ポート1	MIDI OUT 1	MIDI IN 1
ポート2	MIDI OUT 2	
ポート3	MIDI OUT 3	
ポート4	MIDI OUT 4	
ポート5	MIDI OUT 5	
ポート6	MIDI OUT 6	
ポート7	MIDI OUT 7	
ポート8	MIDI OUT 8	

* MIDI OUT 1からはMOTIF-RACK内蔵音源用、MIDI OUT 1~3からはプラグインボード用の信号が出力されます。
MIDI OUT 1~8からはMOTIF-RACKのUTILITY/MIDIにある「ThruPort」で設定した値と同じポート番号のMIDI信号が出力されます。

故障かな?と思ったら(Q&A)

●ドライバーがインストールできない

USBケーブルは正しく接続されていますか?

USBケーブルの接続を確認してください(MOTIF-RACK 取扱説明書)。一度USBケーブルを抜いて、再度挿入してください。

【Windowsの場合】

お使いのコンピューター側でUSBが使用可能になっていますか?

初めてMOTIF-RACKをコンピューターに接続した際、「新しいハードウェアの追加(検索)ウィザード」(6ページ、7ページ)が自動的に表示されないときは、コンピューター側でUSBを使用しない設定になっている場合があります。以下の方法で確認できます。

- 1 「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックして開きます。
- 2 「デバイスマネージャ」のタブをクリックして、「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」や、その下にある「USBルートハブ」などに「!」や「×」のマークがついていないことを確認してください。「USBルートハブ」などに「!」や「×」のマークがついている場合は、USBが使用できない設定になっています。詳細については、お使いのコンピューターの取扱説明書をご参照ください。

【Windowsの場合】

不明なデバイスが登録されていませんか?

何らかの原因によりドライバーのインストールに失敗すると、MOTIF-RACKが「不明なデバイス」として認識されてしまいます。以降インストールができなくなる場合がありますので、以下の手順で「不明なデバイス」を削除してください。

- 1 「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックして開きます。
- 2 「デバイスマネージャ」のタブをクリックして、「種類別に表示」にチェックが入った状態で、「その他のデバイス」がないか確認します。
- 3 「その他のデバイス」がある場合、ダブルクリックして、その下に「不明なデバイス」があれば、選択して[削除]をクリックします。
- 4 USBケーブルをMOTIF-RACKから抜いて、接続し直します。
- 5 以下、6ページの手順3以降(Win98/Me)、6ページの手順4以降(Win2000)、7ページの手順6以降(WinXP)に従って、ドライバーをインストールし直します。

●USB経由でコンピューターよりMOTIF-RACKを操作した場合、正常に動作しない、または音が鳴らない

ドライバーはインストールしましたか(Windows 5ページ、Macintosh 11ページ)?

USBケーブル、オーディオケーブルは正しく接続されていますか(MOTIF-RACK 取扱説明書)?

音源、再生装置、アプリケーションの音量設定は上がっていますか?

ご使用のシーケンスソフトで適切なポートを選択していますか?

ドライバーは最新のものをインストールしましたか?

巻末に記載されているヤマハホームページから最新のドライバーをダウンロードできます。

MOTIF-RACK本体のMIDIの入出力の設定がUSBになっていますか?

UTILITY/MIDIのMIDI IN/OUTをUSBに設定してください(MOTIF-RACK 取扱説明書62ページ)。

●演奏がもたつく

お使いのコンピューターは推奨環境を満たしていますか(Windows 4ページ、Macintosh 9ページ)?

他のアプリケーションやデバイスドライバーは動作していませんか?

【Macintoshの場合】

仮想メモリを「切」にしてください。

AppleTalkを「不使用」にしてください。

●正常にサスペンド、レジュームができない

MIDIアプリケーションが起動している状態で、サスペンドに移行していませんか?

Windows 2000をお使いの場合、USBホストコントローラなどの環境によって、サスペンド/レジュームできない場合があります。(その場合でも、USBケーブルを接続し直すと、MOTIF-RACKは正常に動作します。)

●ドライバーの削除、再インストールがしたい

【Windows Me/98の場合】

- 1 MOTIF-RACKが正しく認識されている状態で、「コントロールパネル」の中の「システム」をダブルクリックして開きます。
- 2 「デバイスマネージャ」のタブをクリックし、「YAMAHA USB MIDI Driver」を選択し、削除します。
- 3 MS-DOSプロンプトまたはエクスプローラを操作して、以下の3つのファイルを削除します。

NOTE ただし、エクスプローラを操作して削除する場合は、エクスプローラの「ツール(表示)」メニューから「フォルダーオプション」を選択して、「すべてのファイル(とフォルダー)を表示する」に設定しておいてください。

- %WINDOWS%\INF\OTHER\YAMAHA\MOTIF-R.INF
- %WINDOWS%\SYSTEM\Xgusb.dr
- %WINDOWS%\SYSTEM\Ymidusb.sys

- 4 USBケーブルを抜きます。
- 5 コンピューターを再起動します。
- 6 5ページのドライバーのインストールにしたがって、再インストールします。

【Macintoshの場合】

- 1 以下の場所にインストールされているファイルをそれぞれ削除します。「システムフォルダー」:「コントロールパネル」:「YAMAHA USB MIDI Patch」
「システムフォルダー」:「機能拡張」:「USB YAMAHA MIDI Driver」
「システムフォルダー」:「OMS Folder」:「YAMAHA USB MIDI OMS Driver」
- 2 コンピューターを再起動します。
- 3 ドライバーのインストール(11ページ)およびOMSのセットアップ(12ページ)をもう一度行ないます。

●デモソングの聞こえ方がおかしい

【Windowsの場合】

ファクトリーセット(MOTIF-RACK取扱説明書57ページ)を行なってMOTIF-RACKを工場出荷時の状態にしてから、デモソングを再生してください。

付属アプリケーションソフトウェアのユーザーサポートサービス

ユーザー登録のお願い

弊社では、ユーザーの方々をサポートし、関連情報をご提供するために、アプリケーションソフトウェア(含む付属アプリケーションソフトウェア)をご購入いただいたお客様を登録させていただいております。

つきましては、お手数とは存じますが、製品に同梱しております「ユーザー登録カード」に(シリアルNo.ラベルを貼り付け)必要事項をご記入の上、至急ご返送くださいますようお願い申し上げます。弊社にてお客様の登録を行ない、折り返しユーザーID番号をご案内いたします(ユーザーID番号は、アプリケーションソフトをインストールする際に入力する番号とは異なります)。

このユーザーID番号は弊社が以下のサポートをさせていただく際に必要な番号ですので、大切に保管してください。

ユーザーサポートサービスのご案内

サービスの種類によっては、CD-ROMディスク(以下ディスクと呼びます)の返送が必要になりますが、その際お送りいただいたディスクが弊社製品と確認できない場合、修復のサービスはお受けになれません。あらかじめご了承ください。

[ユーザー登録手続き]を完了された方に限り、以下のサポートを行なわせていただきます。

無償サポートサービスについて

1. ご購入時に正常に動作しないディスクの修復

製品には万全を期しておりますが、万一ディスクに記録されたプログラムなどの内容が、ご購入時にすでに破壊や欠損を起こしていたために正常に動作しない場合、ディスクの内容を修復(交換またはフロッピーによる修復)いたします。下記の「ディスク修復のお申し込み方法」にしたがってお申し込みください。

- 「ご購入時」とは製品をお求めいただいた日から14日以内とさせていただきます。
- お送りになる前に、お送りいただく旨を、必ず下記の「CBX インフォメーションセンター」まで電話でご連絡ください。

ディスク修復のお申し込み方法

- 1 修復に必要なディスクのほかに、「ユーザー登録用カード」に必要事項(ご住所、お名前、電話番号)をご記入の上、[動作の状態]などを明記した文書をご同封ください。宛先は下記の「CBX インフォメーションセンター」です。
- 2 返送の途中でディスクが破損しないように十分注意して包装してください(返送の途中でディスクが破損または紛失した場合、弊社では責任を負いかねます)。
- 3 ご返送には、郵便書留か宅配便をご利用ください(宅配便の場合は、着払[弊社負担]をご利用いただけます)。

2. SQ01に関する質問の受付

「ユーザー登録手続き」を完了された方に限り、使用方法や関連情報などについて、電話やお手紙による質問をお受けいたします。下記の「CBXインフォメーションセンター」までお問い合わせください。

お問い合わせの際には、「製品名」、「ユーザーID番号」、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」を必ずご明示ください。また、「ご使用のパソコンの種類」、「操作の手順やそれによる結果と状態」、「入力されたデータの内容」なども詳しくお知らせください。お客様からの情報が不足している場合は、ご返事できない場合があります。

CBXインフォメーションセンター

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1

ヤマハ(株)CBXインフォメーションセンター

TEL: 053-460-1667

● 受付 日月～金曜日(祝祭日およびセンターの休業日を除く)

● 受付時間 10:00～12:00/13:00～17:00

* ユーザーサポートサービスは日本国内においてのみ有効です。

有償サポートサービスについて

1. 有償サポートサービスの内容

お客様が使用中にこのディスクを破損された場合、有償でディスクの内容を購入時と同等に修復(交換またはフロッピーによる修復)いたします。必要事項をご記入の上、手数料(¥5,000:消費税込み)と破損したディスクを添え「有償サポートサービスのお申し込み方法」にしたがってお申し込みください。

- 有償サポートサービスの受付期間は、お客様が本製品をご購入後、一年以内とさせていただきます。
- お申し込みになる前に、必ずCBXインフォメーションセンターまで電話でご連絡ください。
- ユーザー登録が完了されているお客様へのサービスです。

2. 有償サポートサービスのお申し込み方法

CBXインフォメーションセンター宛に直接お申し込みください。

このサービスは、お買い上げの販売店では、受け付けておりません。

- 1 下記の有償サポートサービスの[申込書]に必要事項をもなくご記入の上、手数料とともに、CBX インフォメーションセンターまで現金書留にてお送りください。

*お客様からのCBXインフォメーションセンターへの送料は、お客様にてご負担ください。

- 2 ディスクを送付される場合は、「ご住所」、「お名前」、「電話番号」、「ユーザーID番号」を明記して、CBXインフォメーションセンターまで、郵便書留にてお送りください。なお、郵送の途中でディスクが破損しないように、十分注意して包装してください。

* 普通郵便などでお送りになられた際の事故につきましては、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

* 必ずご登録いただいた「ご住所」、「お名前」でお申し込みください。

* お申し込みいただきましたディスク(または修復データを収録したフロッピー)は、手数料の確認の後、登録されたご住所に発送いたします。お申し込み後、2週間過ぎても製品が届かない場合は、CBXインフォメーションセンターまでご連絡ください。

ディスクの紛失につきましては再発行はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

<破損ディスクの修復申し込み>

有償サポートサービスの「破損ディスクの修復」の申し込みをされる場合は、下の申込書をコピーしてご使用ください。

TOOLS for MOTIF-RACK : 破損CD-ROM修復申込書		
ご住所	〒□□□-□□□□ フリガナ	都道府県 市区郡
	(マンション等の名称も必ずご記入ください。)	
お名前	フリガナ	ユーザーID番号
	市外局番	
電話	() -	
破損ディスク「TOOLS for MOTIF-RACK」CD-ROM		

破損ディスクの修復の手数料は¥5,000(消費税込み)です。

ユーザーID番号も必ずご記入ください。

住所/氏名の変更(同一使用者の範囲内)

ご登録いただいた「ご住所」、「お名前」などを変更された場合は、「製品名」、「ユーザーID番号」、「旧住所/旧氏名」、「新住所/新氏名」を明示の上、ご面倒でもCBXインフォメーションセンターまで郵便でご通知ください。折り返し手続き完了のご連絡をさせていただきます。

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、<ソフトウェア使用許諾契約>を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

ディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。ご同意いただけない場合は、未開封のまま速やかに(14日以内)にご返却ください(ただし、本ソフトウェアをソフトウェアパッケージの一部として、またはハードウェア商品の付属ソフトウェアとしてお求めいただいた場合、本ソフトのみの返却はお受けいたしません)。

ソフトウェア使用許諾契約

1. 著作権および使用許諾

弊社はユーザー登録されたお客様に対し、本ソフトウェアを構成するプログラム、データファイル及び今後お客様に一定の条件付きで配布され得るそれらのバージョンアッププログラム、データファイル(以下「許諾プログラム」といいます)を、お客様ご自身が一時に一台のコンピューターにおいてのみ使用する権利を許諾します。これらの許諾プログラムが記録されているディスクの所有権は、お客様にあります。許諾プログラム自体の権利及びその著作権は、弊社が有します。

2. 使用制限

許諾プログラムは著作権を持つ情報を含んでいますので、その保護のため、お客様が許諾プログラムを逆コンパイル、逆アセンブル、リバース・エンジニアリング、またはその他の方法により、人間が感得できる形にすることは許されません。許諾プログラムの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、転売、頒布または許諾プログラムの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。許諾プログラムをネットワークを通して別のコンピューターに伝送することも許されません。

3. 終了

本使用条件はお客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。本使用条件による使用許諾は、お客様が著作権法または本使用条件の条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに許諾プログラムとその複製をすべて廃棄しなければなりません。

4. 製品の保証

弊社は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日間に限り、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。

5. 責任の制限

弊社は、許諾プログラムの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生や第三者からの賠償請求の可能性があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

6. 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション(以下「第三者ソフトウェア」といいます)を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付属のマニュアルに記載されている場合には、本使用条件にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとします。

弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。弊社は、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を、明示であると黙示であるとを問わず、一切いたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様が負担しなければなりません。

弊社は、第三者ソフトウェアの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

7. 一般事項

本契約は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。

■ 商品に関するお問い合わせ窓口

商品本体(およびSQ01以外のソフトウェア)に関するお問い合わせ窓口

ヤマハデジタルインフォメーションセンター
〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1
TEL (053) 460-1666

付属ソフトウェア「SQ01」に関するお問い合わせ窓口

CBXインフォメーションセンター
〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1
TEL (053) 460-1667

■ 営業窓口

PA・DMI事業部

PE営業部 MP営業課
〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1
TEL (053) 460-2432

EM営業統括部

企画推進室
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL (03) 5488-5430

EM営業統括部 各地区お問い合わせ先

EM北海道

〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50(ヤマハセンター)
TEL (011) 512-6113

EM仙台

〒980-0804 仙台市青葉区大町2-2-10
TEL (022) 222-6147

EM東京

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
TEL (03) 5488-5471

EM名古屋

〒460-8588 名古屋市中区錦1-18-28
TEL (052) 201-5199

EM大阪

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-12-9(心斎橋プラザビル東館)
TEL (06) 6252-5231

EM九州

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472-2130

●ヤマハデジタル楽器・DTM製品ホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/product/syndtm/>

●ヤマハマニュアルライブラリー

<http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>

●「音楽する人、音楽したい人のための頼れるポータルサイト」

ミュージックイークラブ・ドットコム

<http://www.music-eclub.com/>

●よくあるご質問(Q&A/FAQ)

<http://www.yamaha.co.jp/supportandservice/index.html>

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。



この取扱説明書は大豆油インクで印刷しています。



この取扱説明書はエコパルプ(ECF:無塩素系漂白パルプ)を使用しています。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

M.D.G., PA・DMI Division, Yamaha Corporation

© 2003 Yamaha Corporation

Printed in Japan

WA24940 302MWAP5.2-02B0